

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート③

基本目標3 未来へつながる人づくり	
基本計画1 地域の人材発掘・育成	
82	人材発掘・地域福祉活動への参加促進
83	地域福祉活動やボランティア活動に関する講座や研修の実施
84	市職員・市社協職員の地域福祉活動の推奨
基本計画2 福祉従事者の確保・育成	
85	福祉職経験者等の発掘・育成
86	大学や各種学校との連携
87	相談援助技術を有する専門職の育成
88	子どもの貧困対策に資する人材の育成
89	U・Iターンの促進
基本計画3 福祉意識の啓発・福祉教育の推進	
90	福祉や人権に関する研修会の実施
91	顕彰の実施
92	地域福祉活動の普及啓発
93	各種学校と連携した福祉教育

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	1 地域の人材発掘・育成		
取組	人材発掘・地域福祉活動への参加促進	担当	福祉政策課 市社協

1 内容

- 地域住民と連携し、地域福祉活動の新たな担い手として、又はリーダーとして活躍が期待できる潜在的な人材の発掘を支援します。
- 若い世代に向けて地域福祉活動についての情報を発信し、活動への興味が湧くよう働きかけます。

2 取組内容に係る方法・指標

- 既存の組織や人材に加え、これまでつながりがなかった個人や団体等と、ワークショップや検討会を通じて、協働を呼びかけます。  
（ワークショップ等開催数：5回/年間）〈令和2年4月現在〉なし
- 若い世代に地域福祉活動を周知するために、ホームページやSNSによる情報発信を充実します。

3 令和2年度の実施内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 実施した内容はありません。

【成果】

- なしです。

【課題】

- コロナ禍でできることを探し実施する必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	1	●実施した内容がないため、この点数とします。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の実施内容

- ワークショップ実施の検討を行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	1 地域の人材発掘・育成		
取組	地域福祉活動やボランティア活動に関する講座や研修の実施	担当	地域振興課 市社協

1 内容

- 地域住民に対し、地域福祉活動やボランティア活動の実践に関する講座や研修を実施します。
- ボランティア活動を始めるきっかけとなり、活動者が増加するよう、ボランティアセンターの事業の内容の充実を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

- ボランティアについて講習会を行い、活動者を育成します。  
（ボランティア活動者向け講座、初心者向け講座の実施：それぞれ2回/年間）〈令和2年4月現在〉なし

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 「こころの健康講座（精神保健福祉ボランティア講座）」を市・米子市ボランティアセンターの共催にて開催しました。
- サロン世話人等を対象に「レクリエーション講座」を2回開催しました。
- 「ボランティア入門講座」を次年度新規事業として実施するに当たり、鳥取市を視察訪問、他市町村の実施状況等の情報収集を行いました。

【成果】

- ボランティア活動に関わる講座  
〈令和2年度3月現在〉こころの健康講座：5回、レクリエーション講座：2回  
（4回予定していたがコロナ対応のため2回中止）

【課題】

- レクリエーション講座がより充実した内容になるよう検討が必要です。また入門講座により多くの方が参加され、効果的に実施できるよう検討が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>4</b>	●コロナ禍のためレク講座を2回中止しましたが、概ね計画通りの講座を実施できました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- レクリエーション講座（4回）、ボランティア入門講座（5回）を実施します。
- ボランティア活動を始めるきっかけとなり、活動者が増加するきっかけづくりを図るため、ボランティア入門講座を開催します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	1 地域の人材発掘・育成		
取組	市職員・市社協職員の地域福祉活動の推奨	担当	福祉政策課 市社協

1 内容

- 研修等を通じて、職員に対して地域貢献の意義や必要性を伝え、職員の「地域デビュー」を働きかけます。
- 職員が地域福祉活動に取り組みやすい職場環境の整備を図ります。

2 取組内容に係る方法・指標

- 地域福祉活動の重要性について研修を実施します。  
（職員向け研修：3回/年間） 〈令和2年4月現在〉なし

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 市社協職員全員に対して地域福祉活動に関わる研修会を1回実施しました。
- 対人援助基礎研修を6回実施し、福祉保健部の職員のうち127人が受講しました。

【成果】

- 市社協職員向け研修会の実施〈令和2年度3月現在〉1回
- 研修会を通して地域福祉活動の重要性について啓発ができました。
- 相手との信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶことができました。

【課題】

- 職員の地域貢献の意欲が高まるよう、研修を充実させる必要があります。
- 研修で学んだことを実践に活かしていない職員が多いです。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員向けの研修会が実施できました。内容や回数について今後も検討が必要です。</li> <li>●これまでの自分を見直すことができた職員が多かったです。引く続き研修を行うことで、改善が見込めます。</li> </ul>
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

- 研修会の実施を継続し、内容や回数についてより効果的に実施できるようにします。
- 対人援助基礎研修に加え、対人援助応用研修及び断らない相談研修を実施し、実践に活かすことができるようにします。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	2 福祉従事者の確保・育成		
取組	福祉職経験者等の発掘・育成	担当	福祉政策課 市社協

1 内容

●資格を有している人、又は職業経験がある人が福祉職に復帰しやすいよう、研修や職場体験等をあっせんします。

2 取組内容に係る方法・指標

●新規採用や復職した職員に対し、個別の研修や面談等を通じて、専門職としての業務が行いやすいよう支援します。

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●新規採用した職員に対して、研修や面談の機会を持ちました。

【成果】

●研修、面談等を実施することで、専門職として業務が行いやすいよう支援することができました。

【課題】

●より充実した研修や面談を実施し、各職員の専門性を高めるために、指導者側の資質を向上させる必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>3</b>	●実施できている部分もありますが、更に業務が行いやすいように支援していく必要があります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●新規採用、復職した職員に対し、個別に研修や面談を実施します。

## 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	2 福祉従事者の確保・育成		
取組	大学や各種学校との連携	担当	福祉政策課 市社協

### 1 内容

- 大学・専門学校等の学生等、福祉、医療の専門資格取得を目指す人の実習やインターンシップを積極的に受入れ、地域で活躍できる人材の育成を支援するとともに、福祉職のやりがいを伝えます。
- 学生を対象に、福祉職に関するアンケート調査を実施し、学生獲得の参考とします。

### 2 取組内容に係る方法・指標

- 社会福祉士養成実習施設実習指導者の資格をもつ市社協職員を増員します。  
(資格保有職員数：4人) 〈令和2年度4月現在〉2人

### 3 令和2年度の実施内容、成果、課題、自己評価

#### 【取組内容】

- 社会福祉士、保健師、看護師養成のため、実習生の受入れを行いました。

#### 【成果】

- 社会福祉士養成実習施設実習指導者  
〈令和2年度3月現在〉1名
- 実習生の受入れ  
〈令和2年度3月現在〉社会福祉士2名、保健師3名、看護師10名

#### 【課題】

- コロナ禍により社会福祉士養成実習施設実習指導者研修会の受講ができませんでした。

#### 【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●実習生受入れによる人材育成支援は計画通りでしたが、実習指導者の数を増やしていく必要があります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

### 4 令和3年度の実施内容

- 実習生の受入れによる人材育成の支援を継続します。
- 実習指導者の養成研修を職員2名が受講します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	2 福祉従事者の確保・育成		
取組	相談援助技術を有する専門職の育成	担当	福祉政策課

1 内容

●大学や福祉事業者と連携を図り、各分野の相談支援員が合同で参加する研修等を開催し、相談援助技術を有する人材の育成を目指します。

2 取組内容に係る方法・指標

●ソーシャルワークの基本的な知識・技術を学ぶ研修会を実施します。  
 （研修会開催数：4回/年間、受講者数60人/年間）〈令和2年度4月現在〉なし

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●モデル事業において、研修カリキュラムの検討を行いました。

【成果】

●研修カリキュラムを作ることができました。

【課題】

●研修を行う際の教材や講義要領の作成が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	3	●研修カリキュラムの作成は完了しました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点がある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●研修を実施するための体制を整えていきます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	2 福祉従事者の確保・育成		
取組	子どもの貧困対策に資する人材の育成	担当	子育て支援課

1 内容

●子どものために活用することを目的として、米子市が個人から受領した寄付金を原資とする「福祉基金」を活用し、子どもの学習支援に関するコーディネーターを設置するとともに、その人材育成に取り組みます。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●こども☆みらい塾の実施に当たり、コーディネーターに島根大学特任教授を配置して、学習支援ボランティア（島根大学学生、教員OB、市職員等）の育成・指導を行いました。

【成果】

●教員を志す学生をはじめ、市職員等ボランティアが教育と福祉の連携の必要性を知るきっかけとなりました。

【課題】

●子ども食堂等民間団体や地域においても、子どもの貧困対策に資する従事者の育成・支援が必要です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>3</b>	●ひまわり基金を活用せずとも、現在の事業を継続することで、人材育成を推進することができました。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度 of 取組内容

●引き続き、子どもの学習支援に関するコーディネーターを配置するとともに、その人材育成に取り組みます。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	2 福祉従事者の確保・育成		
取組	U・Iターンの促進	担当	経済戦略課

1 内容

●市外の若者に市内の企業情報を発信することでU・Iターン就職を促進し、労働市場における人材確保を目指します。

2 取組内容に係る方法・指標

●企業情報を配信しているSNSアカウントの登録者を増やします。  
（登録者数：500名）〈令和2年10月現在〉200名

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●YouTubeやLINEといったSNSを活用して市外の若者に企業情報を発信しました。

【成果】

●SNSの登録者数は303名(令和2年度3月末現在)となり着実に増加しています。

【課題】

●LINEのクーポンを発行して登録者を増やしてきていますが、個人情報などを取り扱わない運用方針に変更したことにより、情報発信のみで登録者を増やしていくことが課題です。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>4</b>	●特にLINEの登録者が順調に増えているため、この点数とします。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●市外の若者に市内の企業情報を発信することでU・Iターン就職を促進し、労働市場における人材確保を目指します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	3 福祉意識の啓発・福祉教育の推進		
取組	福祉や人権に関する研修会の実施	担当	福祉政策課、人権政策課 市社協

1 内容

- 公民館で実施する講座において、人権に関すること、又は福祉や地域への愛着を育むようなテーマを設定し、住民に働きかけます。
- 住民を対象に、地域福祉活動への関心や意欲を高め、又は高齢や障がいへの理解を深める研修会等を実施することで、住民の福祉意識の啓発を推進します。
- 小・中学校の教職員に対して実施する人権教育研修において、福祉に関する内容を取り扱うことで、教職員の福祉意識を高めます。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

- 住民や活動団体を対象に市社協が地域福祉活動に関わる研修会等を実施しました。
- 自治会等を単位とする小地域懇談会を開催しました。

【成果】

- 地域福祉活動に関わる研修会等の実施  
〈令和2年度実施分〉34回
- 人権に関する小地域懇談会の実施  
〈令和2年度実施分〉30回（114自治会）  
新型コロナウイルス感染防止のため限られた取組となりました。

【課題】

- 今後もより多くの機会を捉えて啓発活動に取り組む必要があります。
- 住民の活動意欲がより高まる研修になるよう、内容について改善していく必要があります。
- 幅広い年代から多く参加してもらえよう、内容や開催方法等を検討していく必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>4</b>	●新型コロナウイルス感染防止のため限られた内容ではありますが、順調に実施できています。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

- 地域福祉に関わる研修会の実施を継続し、より多くの啓発活動ができるよう、地域に働きかけます。
- 他法人や企業等とも連携した啓発活動が実施できるよう取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、小地域懇談会を開催します。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	3 福祉意識の啓発・福祉教育の推進		
取組	顕彰の実施	担当	福祉政策課 市社協

1 内容

●社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、「米子市社会福祉大会」等において表彰を行うことで、活動への意欲を高めるとともに住民の福祉意識の啓発に繋がります。

2 取組内容に係る方法・指標

--

3 令和2年度 of 取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、「米子市社会福祉大会」は中止となりました。社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し選出団体を通じて顕彰しました。

【成果】

●米子市社会福祉協議会長表彰受賞者数 〈令和2年度3月現在〉  
 永年在職団体役員 : 21人  
 永年在職民生児童委員 : 32人  
 永年在職施設団体職員 : 51人  
 永年活動ボランティア : 1 団体  
 永年在職在宅福祉員 : 19人

【課題】

●新型コロナウイルスの感染拡大等により表彰式典ができない場合の対応について課題があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	4	●表彰は実施しましたが、コロナ禍のため表彰式典が実施できませんでした。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、「米子市社会福祉大会」等において表彰を行います。

米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	3 福祉意識の啓発・福祉教育の推進		
取組	地域福祉活動の普及啓発	担当	福祉政策課 市社協

1 内容

●広報誌「よなご社協だより」の発行、ホームページ等を活用し、各地区の地域福祉活動や市社協の活動を周知することで住民の福祉への理解や関心を深めていきます。

2 取組内容に係る指標・方法

●広報誌やホームページ、ソーシャルネットワークサービスを活用し、各地区の取組や市社協の活動を発信します。

（地域福祉活動の情報発信：30回以上/年間） 〈令和2年4月現在〉 10回程度/年間

3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

【取組内容】

●広報紙「よなご社協だより」の発行、ホームページの改善を行い、ソーシャルネットワークサービスの発信強化に努めました。

【成果】

●広報誌、ホームページ、ソーシャルネットワークサービスによる情報発信  
〈令和2年度3月現在〉 よなご社協だより：4回発行、ソーシャルネットワークサービス：22回掲載

【課題】

●住民や企業等に対し、地域福祉について興味、関心を持ってもらえるよう情報発信の方法について検討する必要があります。

【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	<b>3</b>	●概ね順調に実施できていますが、更に多くの方に周知できるよう取り組む必要があります。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

4 令和3年度の取組内容

●社協だより、ホームページ、ソーシャルネットワーク等の情報発信強化に努めます。

## 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート（令和2年度）

基本目標	3 未来へつながる人づくり		
基本計画	3 福祉意識の啓発・福祉教育の推進		
取組	各種学校と連携した福祉教育	担当	学校教育課 市社協

### 1 内容

- 児童、生徒が身近な地域に愛着を持ち、また福祉の心を育めるよう、小学校及び中学校の「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの学習において、米子市の福祉部局や市社協が協力し、福祉学習の機会を提供します。
- 福祉教育の推進に資するため、「全小・中・特別支援学校福祉教育推進研究協議会」と連携し、福祉教育実践記録集を発行します。

### 2 取組内容に係る方法・指標

- 福祉教育実践記録集の発行により、各取組を共有することで、各校の福祉教育のより一層の推進を図ります。  
(福祉教育実践記録集の発行：1回/年間) 〈令和2年度4月現在〉同数

### 3 令和2年度の取組内容、成果、課題、自己評価

#### 【取組内容】

- モデル地区にて小学校の「総合的な学習の時間」を活用し、福祉教育プログラムの作成、授業の実施を行いました。
- コロナ禍のため米子市小・中・特別支援学校福祉教育推進研究協議会開催は中止としましたが、福祉教育実践記録集の発行、小中特別支援学校に対する福祉教育推進校育成助成事業は実施しました。
- 福祉教育実践記録集を発行しました。

#### 【成果】

- 福祉教育について、授業内容や伝え方の工夫をすることで、福祉を自分事として捉えるための配慮ができ、より確実な学びに繋げることができました。
- 福祉教育実践記録集の発行により、各学校の福祉教育に関わる取組みを情報共有するなど、今後の活動の支援を行いました。
- 各取組を共有することで、各校の福祉教育のより一層の推進を図ることができました。

#### 【課題】

- コロナ禍のため、外部からの講師派遣や施設見学等が実施できず、各学校の福祉教育の実施が困難となっている状況があります。
- 福祉学習の機会の提供について、市・市社協にて協議していく必要があります。
- 小学校及び中学校の「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの学習における福祉教育を、コロナ禍においても地域とつながる方法や内容を検討する必要があります。

#### 【自己評価】

点数	評価基準	自己評価	評価に対する説明
5	完了（目標達成）	2	●モデル地区において福祉教育授業を実施することができましたが、市・市社協の連携した取組みは不十分です。 ●各小中学校における福祉教育において、地域とのつながりがコロナのために実施できないことが多かったためです。
4	順調に進んでいる		
3	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
2	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い		
1	実施方法も含め改善が必要がある		

### 4 令和3年度の取組内容

- 福祉教育実践記録集の発行、福祉教育推進校育成費助成事業を継続します。
- 福祉教育に関わる学校側のニーズについて把握し、より充実した学習の機会を提供できるよう検討していきます。
- 福祉教育実践記録集の発行により、各取組を共有することで、各校の福祉教育のより一層の推進を図ります。(福祉教育実践記録集の発行：1回/年間)